

楓と閑古鳥

花ことば

車椅子を押す手を止め　しゃがんでその人の骨張った横顔を見た
深く刻まれた目尻の皺に光が流れ　その光は私の瞳の奥を熱くした
透き通った青空を背に　球形に燃える　紅色　深紅　唐紅　桜色　紅赤　銀朱　躑躅色　純白
目の前の花々でできた彩雲に　私たちはことばをなくした